

< 子 とも 向 け の 講 座 >

夏休み 子ども民俗学

-むかしの人が考えた世界のすがた-

開 講 日：7月29日(日)

時 間：10:00 ~ 12:00

募 集 人 数：小学校4~6年生 20人

受 講 料：1,000円

応 募 締 切：7月10日(火) <必着>

内 容： 私たちの社会で昔から伝えられてきた文化を「民俗(みんぞく)」と言います。毎日の暮らしや年中行事、仕事やお祭り、昔話や遊びなど、さまざまなことが「民俗」です。

今回は「世界」のお話をします。といっても世界地図の話ではありません。人間の住む「この世」と、神や仏、鬼などがいる世界「あの世」の話です。

なぜ「お盆」には亡くなった人をおまつりするのでしょうか。「熊野観心十界図(くまのかんしんじゅっかいず)」という絵を見ながら一緒に考えます。

講 師： 浅川泰宏(共通教育科准教授)